

ハック
大学式

登録者27万人超！人気YouTuberが初めて明かす資産の話

会社員のまま経済的自由を手に入れる

超現実的で超具体的な お金の増やし方

2023年
1月26日発行

株式会社あさ出版(代表取締役:田賀井弘毅、所在地:東京都豊島区)はハック大学 ペそ著『会社員のまま経済的自由を手に入れる ハック大学式 超現実的で超具体的なお金の増やし方』を2023年1月26日(木)に刊行いたします。

会社員としての「ポテンシャル」と「時間」を武器に

YouTubeチャンネル登録者数27万人超の人気YouTuberであり、外資系金融機関でマネージャーを務めるハック大学ペそ氏の一番の得意分野とも言える「資産形成」の話。

本書には、会社員のまま自身の市場価値を上げつつ経済的自由を手に入れてきたペそ氏の超現実的で超具体的な資産形成術がたくさん詰め込まれています。読めば、よくわからないお金のこと(会計の知識であったり、運用の知識であったり)を自分事として身近に感じ、考え、理解し、資産形成ができるようになります。

会社員のまま経済的自由を手に入れる

タイトル:ハック大学式 超現実的で超具体的なお金の増やし方

ページ数:224ページ

著者:ハック大学 ペそ

価格:1,540円(10%税込) 発行日:2023年1月26日

ISBN:978-4-86667-423-0

【目次】

PART1 会社員であることを強みに変えるハック大学式資産形成術

Chapter1 まずはお金に対する考え方と自分の資産をとらえなおす

Chapter2 ゴールイメージを明確にして無理せず十分な資産を築く方法

Chapter3 お金の不安を解消するハック大学式ポートフォリオの組み方

PART2 お金にもっと強くなる！会社員のためのマネー講座

Chapter4 リスクを取ってお金を増やす会社員のための投資のポイント

Chapter5 リスクを取らずにお金を残す会社員のための節税策

付録 会社員として稼ぐ力を上げる仕事術10選

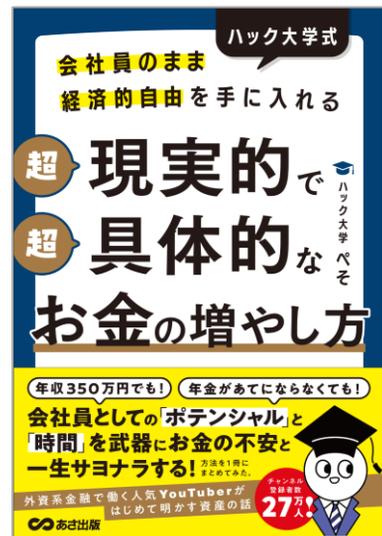
【プロフィール】



ハック大学 ペそ

YouTubeチャンネル「ハック大学」を通じて、キャリアやマネーなどの教育テーマを中心にビジネスパーソンに有益な情報を発信し、チャンネル登録者数は27万人超を誇る。事業会社やコンサルティングファームを渡り歩き、その経験を生かして現在は外資系金融機関のマーケティング部門のマネージャーを務め、投資・資産運用業界で年収約2,000万円を叩き出す現役の会社員。終身雇用や年功序列が崩壊していく中で、会社員が持つべき資産形成の方法など、目先にとらわれない「本質的」な情報を発信し続けている。

著書に『行動が結果を変える ハック大学式最強の仕事術』(ソシム)や『「説明が上手い人」がやっていることを1冊にまとめてみた』(アスコム)、『「超」メタ思考頭がよくなる最強トレーニング57連発』(KADOKAWA)がある。



「会社員のまま経済的自由を手に入れる」とはどういうことか？

会社員として安定収入を得ているみなさんが、それぞれの経済的なポテンシャルを最大限に開花させ、精神的にも金銭的にも豊かになることを目的としています。

その具体的な方法を3つのStepに分け解説しています。

Step1 自分のお金の現状を知る

自分が資産として持っているものすべてを洗い出し、今の自分のお金の実力が、どれだけあるかを把握する方法を解説していきます。

Step①

資産形成のためのバランスシート(項目別)	
資産	負債
現金	円 住宅ローン
普通預金	円 自動車ローン
定期預金	円 カードローン
個人向け国債	円 投資用不動産ローン
株式	円 返済前奨学金
投資信託	円 その他
居住用不動産(持ち家)	円
投資用不動産	円
貯蓄性保険	円 小計
DC/iDeCo	円
	純資産
自動車	円
時計	円
貴金属	円
その他、換金性の高い動産	円
合計	円

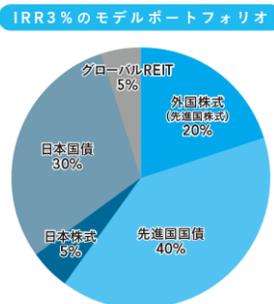
Step2 目標を設定する

焦らずしっかりと、目標とするゴールを見据え、資産形成をスタートさせる、ゴールベース・アプローチを基本とした考えをここで身につけていただきます。

Step ②



Step ③



Step3 資産形成のための道筋を描く

本書で描く道筋とは、ポートフォリオの構築です。本書を読んだ全員が適切な道筋を描けるように、ポートフォリオの組み方をわかりやすく解説しました。

また本書では、「つみたてNISA」「DC/iDeCo」「生命保険料控除」「セルフ・メディケーション税制」など会社員が資産形成を進めるうえで、役に立つ知識や制度も詳しく紹介。

資産形成をするにあたり、押さえておきたいポイントもケーススタディで紹介！

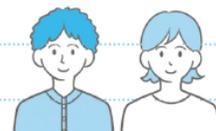
※以下 書籍より一部抜粋

結婚3年目、それぞれ別財布のCさん夫婦の場合

結婚して一緒に生活している2人が資産形成を計画するとき最初にアドバイスしたいのは、バランスシートの考え方です。それぞれではなく、世帯全体のバランスシートで考えることが重要です。

Cさん夫婦

- 30歳(夫) 28歳(妻)
- 世帯年収 800万円 (夫500万円/妻300万円)
- 預貯金 500万円 ● 賃貸住宅



● Cさん夫婦のバランスシート

資産		負債	
現金	20万円	住宅ローン	0万円
普通預金	300万円	自動車ローン	0万円
定期預金	200万円	カードローン	20万円
株式	40万円	投資用不動産ローン	0万円
債券	30万円	返済前奨学金	150万円
投資信託	200万円	その他	0万円
居住用不動産	0万円	小計	170万円
投資用不動産	0万円		
貯蓄性保険	60万円		
財形貯蓄	0万円		
DC/iDeCo	0万円		
自動車	0万円		
その他、換金性の高い動産	0万円		
合計	850万円	純資産	680万円
		合計	850万円

資産形成を世帯全体のバランスシートから考えるという視点に立つと、想像する以上にお金の実力があることに気づけるだけではありません。資産形成のために、最低限やるべきこともはっきりしてきます。

例えば、生命保険です。

夫と妻とで分けて考え、それぞれに保険加入の有無を検討すると、入院保障はともかく、死亡保障は不要という判断になりがちです。

でも、バランスシートを世帯全体で考えると、大きくはありませんが節税効果のある保険料の支出も、非常に有効な選択肢となります。保険もまた、“リスクを取らずにお金を増やせる”、数少ない武器の1つなのです。